

観光産業の新たなビジネスモデルの構築を支援するとともに、そのノウハウの普及・啓発を行う(平成20年度予算2千万円)。

新たなビジネスモデルの例

(客室稼働率の向上、業務の共同化・効率化等)

・バーチャル旅館による共同販売、共同キッチン化



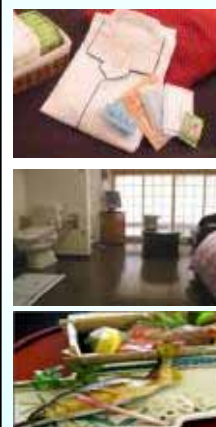
同地域の複数旅館がネット上に仮想旅館を構築し共同販売。空室状況を一元管理することにより、空室のある旅館に割り振り、相互に稼働率向上。また、共同キッチン化し、食材の仕入れ・加工を効率化。

・旅館アウトレットモールの構築



複数の旅館でインターネット上の仮想空間(旅館アウトレットモール)を構築し、旅行会社返室在庫の売れ残りの大幅削減等による客室稼働率の向上を図る。

・連携・共同によるブランド戦略の取り組み



複数旅館で、「エコ」、「バリアフリー」、「のんびり滞在」、「地産地消」等をブランド化し、共同で情報発信や顧客管理をすることで、リピーター確保等による客室稼働率の向上を図る。

事業実施の流れ

